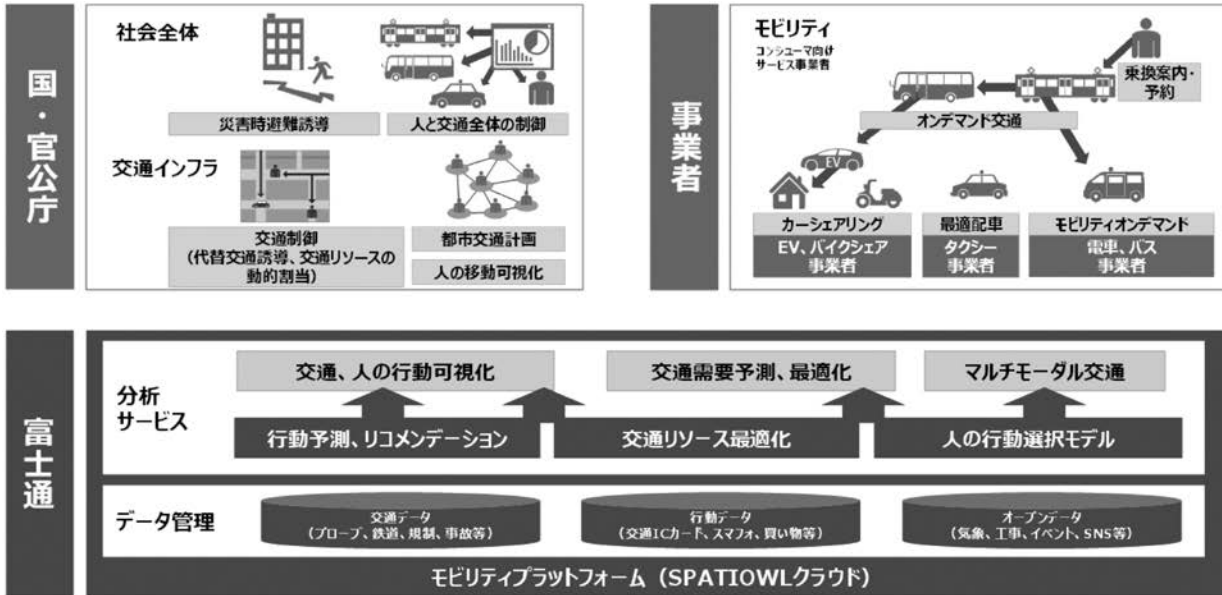


交通・車

これからの交通社会の課題解消には、マルチモーダルで高度化した移動方法の実現が必要です。富士通は、位置情報を活用するクラウドサービス「SPATIOWL（スペーシオウル）」と、IoT技術、大量データ分析・予測、最適化の技術を組み合わせて、交通ビッグデータを活用するお客様のイノベーションを加速します。



■ 事例

水素ステーション情報管理サービス

国内で初めて、燃料電池自動車に水素を供給する水素ステーションの位置や稼働情報などをリアルタイムに把握できる水素ステーション情報管理サービスを、自動車会社に向けて提供。燃料電池自動車の利用者は、カーナビゲーションやスマートフォンなどの端末にて水素ステーションの情報を活用することが可能。

■ 新会社設立

交通・道路データの分析・活用を通して、快適で安全な交通・道路環境の実現を目指し、新会社2社を設立しました。

株式会社富士通交通・道路データサービス

商用車プローブデータの分析と道路補修支援のサービスを提供する目的で、株式会社富士通交通・道路データサービスを2015年7月1日に設立。社会インフラ整備の専門家や道路管理者、輸送事業者とのより迅速な連携を可能にすることにより、新しいサービスの拡充を加速。

株式会社富士通TR・REC研究所

株式会社富士通交通・道路データサービスと株式会社地域未来研究所は、輸送事業者、道路管理者向けの、新規分析サービスを研究・開発する株式会社富士通TR・REC研究所を2015年8月3日に設立。富士通、および富士通交通・道路データサービスが所有するICT活用技術、商用車プローブデータ分析サービスと、株式会社地域未来研究所が持つ交通計画に関する知見を融合。